

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
服飾造形論Ⅱ(ソーイング、ドレーピング、PM)									6単位			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験者の授業科目		○	経験 内容	経験年数:13年 業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)~婦人服アパレルメーカーにてデザイナー、パタンナーアシスタント~パタンナー及び生産管理業務に従事。平成17年~通常業務に加え、海外工場の指導、生産管理担当者に就任。								
授業との関連性		アパレル企業での実務経験で培ってきた衣服制作における実用性の高い知識と技術を指導するとともに学生独自の世界観を引き出し、クリエイティブな作品制作を指導。										
授業目的	・現在(時代のムード)未来(未来的なアイデア)、自身のアイデンティティの3つを組み合わせてクリエイティブなデザイン発想~アウトプット、実物制作ができるようになる。											
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作~縫製仕様まで幅広く理解し応用できるようになる。											
	・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。											
到達目標	・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開から縫製までできるようになる。											
	・各自がPlan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Act(改善)ができるようになる。											
	・サマーファッションコンテストにて作品を発表する。											
授業概要												
サマーファッションコンテストのデザイン~制作まで様々な観点で実験と研究を繰り返し担当教員とディスカッションしてクリエイティブな作品制作を行う。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
4月	20	PD3の共通課題 前期3コーディネート制作 ★サマーコンテスト作品製作(2作品)+各自課題に合わせた1コーディネート作品 ・デザイン合わせた縫製テクニック&テキスタイル実験と様々な縫製テクニックの研究										
5月	38	・デザイン画のバランス通りにシルエット表現できる ・素材の特性に合わせたドレーピングが出来る ・仕様・工程が考えられたパターンメイキングが出来る										
6月	32	・素材に合わせた裁断・縫製方法がとれる ・就職活動を視野に入れて計画的に取り組む。 *各自縫製スケジュール表に基づき進めていく										
7月	38											
9月	32											
留意事項		授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。										
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意										
評価方法 対象・比重		・評価テスト30%・提出物70% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
服飾造形論Ⅱ(ソーイング、ドレーピング、PM)									6単位			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:13年 業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)婦人服アパレルメーカーにてデザイナー、パタンナー及び生産管理責任者として海外工場の立ち上げなど、企画生産業務に幅広く従事。							
授業との関連性		アパレル企業での実務経験で培ってきた衣服制作における実用性の高い知識と技術を指導するとともに学生独自の世界観を引き出し、クリエイティブな作品制作を指導。										
授業目的	・現在(時代のムード)未来(未来的なアイデア)、自身のアイデンティティの3つを組み合わせるクリエイティブなデザイン発想～アウトプット、実物制作ができるようになる。											
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作～縫製仕様まで幅広く理解し応用できるようになる。											
	・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。											
到達目標	・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開から縫製までできるようになる。											
	・各自がPlan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)ができるようになる。											
	・マイブランド作品を4コーディネート作成する。											
授業概要												
マイブランド企画の研究 デザイン～制作まで様々な観点で実験と研究を繰り返し、担当教員とディスカッションしてブランド商品として確立させ実際に販売する。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
10月	31	マイブランド立ち上げ4スタイリング作成 各アイテムのパターンメイキング及び ドレーピング方法駆使し、 トワール組み立ての実践 完成パターン・工業用パターン (最低4コーディネート)										
11月	32	各自のデザインに応じて テクニク&テキスタイル実験と 様々な縫製テクニクの研究 トワール組み立て・確認・修正 パターン修正とトワールの再組み立て・確認										
12月	24	完成パターン→工業用パターンへ 縫製仕様書作成、工程分析作成  裁断→縫製										
1月	27	*各自縫製スケジュール表に基づき進めていく  *3月出店予定のオリジナルショップ商品作成										
2月	26											
3月	12											
留意事項		授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。										
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意										
評価方法 対象・比重		・評価テスト30%・提出物70% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
パターンメイキングⅡ									2.5単位			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義	10%	演習		実習	90%	
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:13年 業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)～婦人服アパレルメーカーにてデザイナー、パタンナーアシスタント～パタンナー及び生産管理業務に従事。平成17年～通常業務に加え、海外工場の指導、生産管理担当者に就任。							
授業との関連性		パターンメイキングの基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応したパターンメイキング能力を修得する。										
授業目的	TORAY ACS CREA COMPOを使用してCAD操作を身に付ける。											
到達目標	CADを使用してパソコン上でパターンメイキングを行い工業用パターンを作成し出力する。											
授業概要												
TORAY ACS CREA COMPOを使用してCADの基本操作学ぶ。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
4月	14	周辺機器・画面構成の説明 図形の移動・コピー 基礎トレーニング 削除・直線・曲線・計測・カット 基礎トレーニング 回転・切り開き・合わせ・ダーツ/タック展開 基礎トレーニング パターン内書き込み・地の目 基礎トレーニング 原型のダーツ展開、レディース、メンズトップスパターン作成										
5月	20	スカート セミタイト スカート展開・書き込み・パーツ化・工業用パターン作成 スカート フレア スカート展開・書き込み・パーツ化・工業用パターン作成										
6月	20	ゴアードSK、プリーツsk タイトsk原型からのパターン展開・工業用パターン ジャケット 各自制作のデザインジャケット:パターン データ入力・トレース ジャケット 軸戻し・パターン作成 ジャケット 書き込み・パーツ化・工業用パターン作成										
7月	15	ジャケットの衿、見返しの展開 裏パターンの作成 ジャケット 工業用パターンの完成										
9月	13	テスト										
留意事項	授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。また操作を覚えるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席(公欠含む)等で授業の進捗に遅れが出た場合は、次の授業までに必ず自習し授業の進捗に遅れないように取り組むこと。											
教材、資料等	使用機種 東レ・クレアコンポ(パターンマジック) ・必要に応じて適宜用意											
評価方法 対象・比重	・評価テスト50%・提出物50% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
パターンメイキングⅡ									2.5単位			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義	10%	演習		実習	90%	
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:13年 業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)～婦人服アパレルメーカーにてデザイナー、パタンナーアシスタント～パタンナー及び生産管理業務に従事。平成17年～通常業務に加え、海外工場の指導、生産管理担当者に就任。							
授業との関連性			パターンメイキングの基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応したパターンメイキング能力を修得する。									
授業目的	TORAY ACS CREA COMPOを使用してCAD操作を身に付ける。											
到達目標	CADを使用してパソコン上でパターンメイキングを行い工業用パターンを作成し出力する。											
授業概要												
TORAY ACS CREA COMPOを使用してCADの基本操作学ぶ。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
10月	17	応用マイブランド マイブランドのパターン作成/スキャン 応用マイブランド パターン作成 応用マイブランド パターン修正										
11月	18	応用マイブランド パターン修正 応用マイブランド パターン修正・パターン展開・工業用パターン作成 共通課題 :マイブランドパターンの スキャン、線の修正、工業パターン作成、出力。										
12月	18											
1月	14											
2月	15											
3月	13											
留意事項		授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。また操作を覚えるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席(公欠含む)等で授業の進捗に遅れが出た場合は、次の授業までに必ず自習し授業の進捗に遅れないように取り組むこと。										
教材、資料等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用機種 東レ・クレアコンポ(パターンマジック)</li> <li>・必要に応じて適宜用意</li> </ul>										
評価方法 対象・比重		<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価テスト50%・提出物50%</li> <li>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</li> </ul>										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
グラフィックワーク I									2.5単位			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義	20%	演習		実習	80%	
授業目的	ファッションビジネスの現場ではPCでのデザインやプレゼンテーション資料作成のスキルが必須。業界標準的に使用されているAdobeアプリの基本操作(知識と技術)から課題作成(実践)を行い応用力を身に付ける。											
到達目標	Adobeアプリの基本的な操作を学び、デザイン資料やポートフォリオを作成できるようになる。											
授業概要												
Adobeアプリを使用し、各単元にて基本的な操作方法を身に付け、ファッション業界で行われる各作業に対応できる力を身に付ける。また卒業企画展に向け、アパレルブランドに必要なプロモーション関連グッズの基本的な知識と作成方法を学ぶ。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
4月	14	フォトショップ基本操作 写真素材切り取り 画像から不要な部分の削除の方法説明と練習 コラージュによるファッションマップ作成 レイヤーを使って素材データを組み合わせる										
5月	20	コラージュによるファッションマップ作成 フォントの効果的な使い方 コラージュによるファッションマップ作成 フォントの効果的な使い方 スタイル画の着色・修正・シャドウハイライトの作り方 レイヤースタイルの理解										
6月	20	スタイル画の着色 各自が描いたスタイル画の着色 スタイル画をマップにまとめる スタイル画のイメージに合うマップ作成(コラージュ) マイブランドのポートフォリオを作成する イラストレーター基本操作 イラストレーターとは 画面表示										
7月	15	アイコンの作成 図形同士を型抜きや合成などに活用する アイコンの作成 ヒトの行動やモノを表すマークを作る ペンツールの使い方 アンカーとパスの理解										
9月	13	ペンツールの使い方 トレース練習 (アドビチュートリアル) ペンツールの使い方 トレース練習 ハンガーイラストを作成する方法 ハンガーイラストを企画書にまとめる										
留意事項	授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。また操作を覚えるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席(公欠含む)等で授業の進捗に遅れが出た場合は、次の授業までに必ず自習し授業の進捗に遅れないように取り組むこと。											
教材、資料等	アドビチュートリアル。・必要に応じて適宜用意											
評価方法 対象・比重	・提出物60%・取組姿勢40% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
グラフィックワーク I									2.5単位			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義	20%	演習		実習	80%	
授業目的	ファッションビジネスの現場ではPCでのデザインやプレゼンテーション資料作成のスキルが必須。業界標準的に使用されているAdobeアプリの基本操作(知識と技術)から課題作成(実践)を行い応用力を身に付ける。											
到達目標	Adobeアプリを使用してブランドプロモーショングッズを作成し、自身のポートフォリオにまとめる。また実物を作成しプレゼンテーションを行う。											
授業概要												
Adobeイラストレーター、フォトショップを使用し、基本的な操作方法を身に付け、ファッション業界で行われる各作業に対応できる力を身に付ける。また卒業企画展に向け、アパレルブランドに必要なプロモーション関連グッズの基本的な知識と作成方法を学ぶ。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
10月	17	ファッション関連やファッションブランドプロモーショングッズについて研究する プロモーショングッズについて 研究したものをイラストレーターにまとめる ブランドマップ作成										
11月	18	ブランドマップ作成ブランドコンセプト・ターゲットをまとめる プロモーショングッズ作成 ブランドロゴ作成 プロモーショングッズ作成 キービジュアルの作成										
12月	18	プロモーショングッズ作成 DM及びポップの作成 プロモーショングッズ作成 名刺作成 プロモーショングッズ作成 インビテーション作成 プロモーショングッズ作成 タグ作成										
1月	14	プロモーショングッズ作成 ネットプリントについて										
2月	15	プロモーショングッズネットプリント等で DM・名刺、インビテーション、タグの作成 プロモーショングッズ作成 作成したグッズをまとめる プレゼン資料作成										
3月	13	プレゼンテーション										
留意事項	授業内にスケジュール通りに進まなかった場合は課題にて各自補うこと。また操作を覚えるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席(公欠含む)等で授業の進捗に遅れが出た場合は、次の授業までに必ず自習し授業の進捗に遅れないように取り組むこと。											
教材、資料等	アドビチュートリアル。・必要に応じて適宜用意											
評価方法 対象・比重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物60%・取組姿勢40%</li> <li>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</li> </ul>											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
アパレル企画Ⅱ									2.5単位			
担当教員	原賀友子/本田茂貴				科目区分	講義	30%	演習		実習	70%	
授業目的	各自の方向性に応じたカリキュラムに基づき、ターゲットとコンセプト見直し、過去と現状を踏まえ未来を予測した企画力とプレゼンテーション力の更なるレベルアップを目指す。											
到達目標	自分の品揃えがブランドコンセプトとシーズンテーマに合っているか、時代に求められるものであるかなど客観的に見直しながら、問題点、修正点を自ら気づける力を身に付ける。											
	就活に必要な企画書やポートフォリオの作成と、説得力のあるプレゼンテーションができる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	14	各自、就活に合わせた目的と目標設定(A4) スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
5月	20	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
6月	20	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
7月	15	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
9月	13	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ 前期テスト										
留意事項												
教材、資料等		コレクション雑誌 等										
評価方法 対象・比重		・評価テスト70%・提出物15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
アパレル企画Ⅱ									2.5単位			
担当教員	原賀友子/本田茂貴				科目区分	講義	30%	演習		実習	70%	
授業目的	各自の方向性に応じたカリキュラムに基づき、ターゲットとコンセプト見直し、過去と現状を踏まえ未来を予測した企画力とプレゼンテーション力の更なるレベルアップを目指す。											
到達目標	自分の品揃えがブランドコンセプトとシーズンテーマに合っているか、時代に求められるものであるかなど客観的に見直しながら、問題点、修正点を自ら気づける力を身に付ける。											
	就活に必要な企画書やポートフォリオの作成と、説得力のあるプレゼンテーションができる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	17	各自、就活に合わせた目的と目標設定(A4) スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
11月	18	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
12月	18	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
1月	14	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
2月	15	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
3月	13	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ 後期テスト										
留意事項	提出物:研究レポート(企画書等)											
教材、資料等	コレクション雑誌 等											
評価方法 対象・比重	・評価テスト40%・提出物50%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
デザイン画									1単位			
担当教員	吉永 あすか				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	ウエディング衣装店にてチーフデザイナー、ドレス制作などを経て、オーダーメイド衣装デザイナーとして独立後、ウエディングドレス、舞台衣装、テーマパークユニフォーム、舞台美術デザイン、ヘアメイクなどのデザイン、制作をフリーランスで行っている。							
授業との関連性		上記で培った経験を生かし、デザイン画においての色彩感覚や着色方法、トータルバランス、魅せ方などの知識、技術を教授する										
授業目的	ファッションドローイングの応用技術と独自のアイデア表現を更に追求し デザイン画のクオリティーを高め、よりスピーディーに描く技術の習得											
到達目標	コンセプト、テーマ、素材等の表現を解りやすく描く技術の習得											
授業概要												
コンクールやコンテストへの挑戦を通して、作品制作における自己との対話を重視し、個々の表現をサポートします。自分自身と向き合うことで、描きたいものや世界観を明確にし、コンセプトに基づいたデザイン力を育成します。さらに専門的な視点から資料やサンプルを用いたコーチングを行い、自主的なコレクション制作を目指します。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
4月	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種コンクール・コンテスト作品 装苑賞 YKKファスニングアワード ナゴヤ ファッションコンテスト 日暮里 ファッションデザインコンテスト 全国ファッションデザインコンテスト</li> </ul>										
5月	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>Book OFF Re Clothes Cup 千年大賞 文化連鎖校コンクール 全国服飾学校ファッション画コンクール など…</li> <li>作品を通して学ぶこと 動きのあるポージングの描き方 様々な裁縫技法の描き方 デザイン展開の練習 アイテム画の練習</li> </ul>										
6月	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休暇課題についての説明</li> </ul>										
7月	3											
9月	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>引継ぎ各種コンクール コンテスト作品</li> </ul>										
留意事項												
教材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化ファッション大系服飾関連専門講座⑤ファッションデザイン画</li> <li>自作ファイル</li> </ul>											
評価方法 対象・比重	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出作品70%・提出状況15%・取組姿勢15%</li> <li>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点) 良(79~70)(GP 2点)、可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</li> </ul>											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
デザイン画									1単位			
担当教員	吉永 あすか				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	ウエディング衣装店にてチーフデザイナー、ドレス制作などを経て、オーダーメイド衣装デザイナーとして独立後、ウエディングドレス、舞台衣装、テーマパークユニフォーム、舞台美術デザイン、ヘアメイクなどのデザイン、制作をフリーランスで行っている。							
授業との関連性			上記で培った経験を生かし、デザイン画においての色彩感覚や着色方法、トータルバランス、魅せ方などの知識、技術を教授する									
授業目的	ファッションドローイングの応用技術と独自のアイデア表現を更に 追求し デザイン画のクオリティーを高め、よりスピーディーに描く技術の習得											
到達目標	コンセプト、テーマ、素材等の表現を解りやすく描く技術の習得											
授業概要												
コンクールやコンテストへの挑戦を通して、作品制作における自己との対話を重視し、個々の表現をサポートします。自分自身と向き合うことで、描きたいものや世界観を明確にし、コンセプトに基づいたデザイン力を育成します。さらに、専門的な視点から資料やサンプルを用いたコーチングを行い、自主的なコレクション制作を目指します。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
10月	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種コンクール・コンテスト作品</li> <li>各自、自身のカリキュラムに沿って デザイン画の追求、見直しをする (デザイン画を描く上で、得意不得意を 把握し、伸ばしたい部分にフォーカスする)</li> </ul>										
11月	5											
12月	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身のカリキュラムを進める (コーチングの元、各自の世界観、表現の幅を広げる)</li> </ul>										
1月	4											
2月	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイル作成 これまでの作品をデザイン資料として 次学年でも活用できるように ファイルにまとめる</li> <li>一年間のまとめ</li> </ul>										
3月	2											
留意事項												
教材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化ファッション大系服飾関連専門講座⑤ファッションデザイン画</li> <li>自作ファイル</li> </ul>											
評価方法 対象・比重	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出作品70%・提出状況15%・取組姿勢15%</li> <li>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点) 良(79~70)(GP 2点)、可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</li> </ul>											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
企画									2単位			
担当教員	原賀 友子				科目区分	講義	30%	演習		実習	70%	
実務経験のある教員等による 授業科目	○		経験 内容	経験年数;10年 広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年 パーソナルカラーを取り入れたパーソナルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年 カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等の講師実績。								
授業との関連性	実務経験を通して培った、リサーチやデザイン、コーディネート発想の指導をもとに、学生独自の作品制作に反映出来るよう企画をブラッシュアップさせる。											
授業目的	企画書、ポートフォリオ、ボード制作の基本知識を応用した、オリジナルの企画スキルを習得する。 自らの制作のスケジュールに沿って、企画出来るように習慣づける。											
到達目標	目的に応じて、オリジナルの企画書、ポートフォリオ、ボードの制作ができる。 目的に応じて、適切なプレゼンテーションができる。											
授業概要												
2年時に学んだ企画プロセスに従って、作品作りに繋がるように、より実践的な企画書を作成する。 各々の特性や進行状況に応じて、基本を踏まえつつ、独自のスキルアップにつながる指導を行う。 また、発想や意向について出来るだけ細かく打ち合わせを行うことで、コミュニケーションのスキルアップを目指す。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
4月	9	<講義> ●トレンド分析 A/Wコレクション分析  ●オリジナルブランド企画 ターゲット、コンセプトの確認 シーズンテーマの設定とMD企画 *オリジナル企画ファイル制作 ・シーズンテーマ S/S ・MD企画表 ・コーディネート例4体 ・アイテム一覧表 ・布地サンプル収集					<実習> *A/Wコレクショントレンド分析ボード制作 (PD4との共同制作) ・デザインテーマ分析 ・シルエット分析 ・色、柄、素材、ディテール分析  *各自 A/Wコレクション分析 ・デザインの潮流 ・A/Wコレクショントレンドと予測の検証 ・現マーケットトレンドのリサーチと検証 ・次S/Sコレクショントレンドの予測  *注目トレンドのリサーチとレポート  *プレゼンテーション 注目トレンド レポート提出					
5月	12											
6月	12											
7月	9	<期末テスト> *プレゼンテーション 企画ファイル提出										
9月	9											
留意事項	各自作業スケジュールを立てて、課題研究の時間は自習体制で進める。											
教材、資料等	・プリント資料 ・ファッション販売3、2 ・ファッションビジネス[ I ]改訂版 ・ファッションビジネス2級											
評価方法 対象・比重	・評価テスト40% ・提出物50% ・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
企画									2単位			
担当教員	原賀 友子				科目区分	講義	30%	演習		実習	70%	
実務経験のある教員等による 授業科目	○	経験 内容	経験年数;10年 広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年 パーソナルカラーを取り入れたパーソナルコーディネートセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年 カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等の講師実績。									
授業との関連性	実務経験を通して培った、リサーチやデザイン、コーディネート発想の指導をもとに、学生独自の作品制作に反映出来るよう企画をブラッシュアップさせる。											
授業目的	企画書、ポートフォリオ、ボード制作の基本知識を応用して、オリジナルの企画スキルを習得する。 自らの制作のスケジュールに沿って、企画出来るように習慣づける。											
到達目標	目的に応じて、オリジナルの企画書、ポートフォリオ、ボードの制作ができる。 目的に応じて、適切なプレゼンテーションができる。											
授業概要												
2年時に学んだ企画プロセスに従って、作品作りに繋がるように、より実践的な企画書を作成する。 各々の特性や進行状況に応じて、基本を踏まえつつ、独自のスキルアップにつながる指導を行う。 また、発想や意向について出来るだけ細かく打ち合わせを行うことで、コミュニケーションのスキルアップを目指す。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
10月	12	<講義> ●トレンド分析 S/Sコレクション分析  ●オリジナルブランド企画 ターゲット、コンセプトの確認 シーズンテーマの設定とMD企画 *オリジナル企画ファイル制作 ・シーズンテーマ A/W ・MD企画表 ・コーディネート例4体 ・アイテム一覧表 ・布地サンプル収集					<実習> *S/Sコレクショントレンド分析ボード制作 (PD4との共同制作) ・デザインテーマ分析 ・シルエット分析 ・色、柄、素材、ディテール分析  *各自 S/Sコレクション分析 ・デザインの潮流 ・S/Sコレクショントレンドと予測の検証 ・現マーケットトレンドのリサーチと検証 ・次A/Wコレクショントレンドの予測  *注目トレンドのリサーチとレポート  *プレゼンテーション 注目トレンド レポート提出					
11月	9											
12月	9											
1月	12	<期末テスト> ▼*プレゼンテーション 企画ファイル提出										
2月	9											
3月	6											
留意事項	各自作業スケジュールを立てて、課題研究の時間は自習体制で進める。											
教材、資料等	・プリント資料 ・ファッション販売3、2 ・ファッションビジネス[ I ]改訂版 ・ファッションビジネス2級											
評価方法 対象・比重	・評価テスト40% ・提出物50% ・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科									
分類	必修	○	必須 選択		学年	3	年	学期	通年	
授業科目名								単位		
インターンシップ								2		
担当教員	本田 茂貴			科目区分	講義		演習		実習	100%
授業目的	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深める。									
	自身の強味、弱み、適正などを見つけ将来の就職活動につなげる。									
到達目標	企業での実務経験を通して、即戦力となる知識と技術を身に付ける。									
	各自が将来目指す職種での社会経験、実務経験を積み就職への備えとする。									
授業内容(授業展開)										
<p>期間(1週間～2週間程度)、時期は研修目的、受け入れ先企業と相談の上決定。          ・研修先は指導教員と定期的にミーティングを行い、受け入れ先企業を選定。          受入先企業決定後、研修内容等についてミーティング実施し、インターンシップ書類を作成</p>										
留意事項										
教材、資料等										
評価方法 対象・比重	受入先企業からの評価とインターンシップレポートにて評価する。 *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。									

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
英会話									1単位			
担当教員	嶋田 ローズ 有華				科目区分	講義	20%	演習	80%	実習		
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:10年 公官庁の通訳、英語講座エンジョイ英会話を立ち上げ、中学校の臨時教師、ALTを務める。							
授業との関連性		日本での通訳や英語教師の経験を活かして、日常で使う英会話からビジネス英会話まで幅広く指導を行い国際言語を通して世界を広げる。										
授業目的	・自信を持ち楽しみながら英会話を学ぶ。											
到達目標	・ファッションに関連した言葉や、基本的なコミュニケーションフレーズを覚えて使えるようになる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	2	自己紹介・ファッション用語(ファッションアイテム・柄)・感想や印象を述べる										
5月	4	単語(色・アメリカ英語とイギリス英語の違い)・基本的な英会話の学習・自分の服の素材の説明										
6月	4	動画視聴・ディクテーション学習・質問練習										
7月	3	動画作成・プレゼンテーション・好きなファッションアイテム+テキスト										
9月	3	テスト、サマーコンペティションエッセイ+テキスト										
留意事項												
教材、資料等		Forward Mode textbook										
評価方法 対象・比重		・評価テスト80%・取組姿勢20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
英会話									1単位			
担当教員	嶋田 ローズ 有華				科目区分	講義	20%	演習	80%	実習		
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:10年 公官庁の通訳、英語講座エンジョイ英会話を立ち上げ、中学校の臨時教師、ALTを務める。							
授業との関連性		日本での通訳や英語教師の経験を活かして、日常で使う英会話からビジネス英会話まで幅広く指導を行い国際言語を通して世界を広げる。										
授業目的	・自信を持ち楽しみながら英会話を学ぶ。											
到達目標	・ファッションに関連した言葉や、基本的なコミュニケーションフレーズを覚えて使えるようになる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	3	英語コミュニケーション、観光用語+テキスト										
11月	4	英語の絵本を読む、発音練習(LとRの違い)+テキスト										
12月	4	英検対策、長文、ロールプレイ										
1月	2	英検対策、過去問、面接練習										
2月	3	作文「スクールイベント」、プレゼンテーション										
3月	3	後期テスト										
留意事項												
教材、資料等		Forward Mode textbook										
評価方法 対象・比重		・評価テスト80%・取組姿勢20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科3年、ファッションビジネス1年											
分類	必修	○	必須 選択		学年	1、3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
一般教養									1単位			
担当教員	徳永隆裕				科目区分	講義	70%	演習	30%	実習		
授業目的	社会人として要求される一般常識及びヒューマンスキルを身につけ、併せて就職試験で求められる											
	一般教養試験へ対応できるようにする。											
到達目標	就職試験で課される一般教養試験(国、数、英、社、時事等)で60%以上の得点が取得できるレベルと、											
	SPI 試験の内容の理解。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目ガイダンス</li> <li>・就活の心得</li> <li>年間スケジュール、就活サイトの活用等</li> <li>・自己分析</li> </ul>										
11月	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業研究</li> <li>会社形態、会社組織、企業理念、経営指標等</li> <li>・業界研究</li> </ul>										
11月 12月	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SPI対策</li> <li>問題解説、筆記テスト対策</li> </ul>										
1月	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書対策</li> <li>・面接対策</li> <li>演習 等</li> </ul>										
2月	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループディスカッション</li> <li>・業界研究</li> </ul>										
3月	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接、GD個別指導 等</li> <li>・期末テスト</li> </ul>										
留意事項												
教材、資料等	テキスト、新聞・ネット等からの業界及び企業情報											
評価方法 対象・比重	テスト70%、提出物等30% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、 (GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2・3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
特別講義									1単位			
担当教員	特別講義関連講師				科目区分	講義	90%	演習		実習	10%	
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける</li> <li>・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する</li> <li>・様々なライフスタイルの方々を講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ</li> </ul>											
到達目標	<p>アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かすことが出来るようになる。</p> <p>様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養う。</p>											
授業概要												
教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。												
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	1	キャリア教育講習①										
	1	校外研修事前説明会										
	1	校外研修										
5月	1	学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション										
	1	キャリア教育講習②										
	1	DVD鑑賞「ファッション関連」										
	1	大掃除										
6月	1	特別講義（業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師 デザイナーによる授業等）										
	1	キャリア教育講習③										
	1	大掃除										
	1	毛皮セミナー										
7月	1	サマーファッションコンテスト事前審査会										
	1	キャリア教育講習④										
	1	サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル										
9月	1	キャリア教育講習⑤										
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して 等)										
	1	大掃除										
留意事項	一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・織研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。											
教材、資料等												
評価方法 対象・比重	<p>レポート・提出物等80%、取組姿勢・出欠20%</p> <p>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</p>											

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2・3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
特別講義									1単位			
担当教員	特別講義関連講師				科目区分	講義	90%	演習		実習	10%	
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける</li> <li>・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する</li> <li>・様々なライフスタイルの方々に講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ</li> </ul>											
到達目標	<p>アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かすことができるようになる。</p> <p>様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養い感性を伸ばす。</p>											
授業概要												
教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。												
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	1	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式事前準備及びリハーサル										
	1	特別講義 (業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師 デザイナーによる授業等)										
	1	大掃除										
11月	1	美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー)										
	1	DVD鑑賞「ファッション関連」										
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して 等)										
	1	大掃除										
12月	1	国内・海外研修に関して事前説明会										
	1	DVD鑑賞「ファッション関連」										
	1	大掃除										
1月	1	美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー)										
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して 等)										
	1	大掃除										
2月	1	就職関係 (企業セミナー、Jobカードセミナー等)										
	1	DVD鑑賞「ファッション関連」										
	1	大掃除										
3月	1	学生実行委員会に関して 次年度に向けた移行準備										
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して 等)										
留意事項	一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・織研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。											
教材、資料等												
評価方法 対象・比重	<p>レポート・提出物等80%、取組姿勢・出欠20%</p> <p>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</p>											

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	1・2・3・4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
イベント・学校行事									1単位			
担当教員	関連講師				科目区分	講義	5%	演習		実習	95%	
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける</li> <li>・イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。</li> <li>・学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。</li> </ul>											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。</li> </ul>											
授業概要												
<p>習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。  各行事・イベント毎に担当・指導する講師のもと、各自が自分で考え報・連・相を取りながら実習を行う。</p>												
授業内容(授業展開)												
時期	授業内容											
4月	校外研修事前説明会及び学科・学年を超えたコミュニケーション											
	校外研修											
	校外研修											
5月	学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション											
	各学生実行委員毎に年間スケジュール計画											
	各学生実行委員毎に年間スケジュール計画・役割決め											
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動①											
6月	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動②											
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動③											
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動④											
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動⑤											
7月	サマーファッションコンテスト 事前審査会実施											
	サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル											
	サマーファッションコンテスト実施											
9月	サマーファッションコンテスト まとめ											
	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動①											
	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動②											
留意事項	学生実行委員会には【学生イベント企画委員・学生広報委員・学生ECクラブ・サマーファッションコンテスト実行委員・卒業企画実行委員】が含まれる											
教材、資料等												
評価方法 対象・比重	行事・イベント実施まで準備期間の取組み50%、行事・イベント実施日の取組み40%、出欠10%*取組み姿勢 優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	1・2・3・4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
イベント・学校行事									1単位			
担当教員	関連講師				科目区分	講義	5%	演習		実習	95%	
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける</li> <li>・イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。</li> <li>・学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。</li> </ul>											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。</li> </ul>											
授業概要												
<p>習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。 各行事・イベント毎に担当・指導する講師のもと、各自が自分で考え報・連・相を取りながら実習を行う。</p>												
授業内容(授業展開)												
時期	授業内容											
10月	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動③											
	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式事前準備及びリハーサル											
	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式実施											
11月	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式 まとめ											
	学生イベント企画 活動① ドレスコードイベント											
	学生イベント企画 活動② ドレスコードイベント											
	学生イベント企画 活動③ ドレスコードイベント											
12月	学生イベント企画 活動⑤ スポーツ大会											
	学生イベント企画 活動⑥ スポーツ大会											
	卒業企画発表 実施に向けた活動①											
1月	卒業企画発表 実施に向けた活動②											
	卒業企画発表 実施に向けた活動③											
	卒業企画発表 実施に向けた活動④											
2月	卒業企画発表 実施に向けた活動⑤											
	卒業企画発表 事前準備・リハーサル											
	卒業企画発表 実施											
3月	卒業企画発表 まとめ											
	学生実行委員会に関して 次年度に向けた移行準備											
留意事項	学生実行委員会には【学生イベント企画委員・学生広報委員・学生ECクラブ・サマーファッションコンテスト実行委員・卒業企画実行委員】が含まれる											
教材、資料等												
評価方法 対象・比重	<p>行事・イベント実施まで準備期間の取組み50%、行事・イベント実施日の取組み40%、出欠10%*取組み姿勢 優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</p>											